# ONE

地方独立行政法人
山梨県立病院機構
YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION

## 2023 研修医・専攻医募集案内

一人ひとり、一歩づつ。

# ONE

# 翔べ、世界へ。

## ONE Package

## “世界に羽ばたく人材”を 独自のプログラムで育成します。

臨床研究、国際誌投稿、国内外留学等、個人の願望、将来のキャリア形成に応じる柔軟なプログラムにより、“One Package”としての卒直後研修5年間をサポートいたします。

初期、後期の一貫研修を通してこの期間に当院でどれだけの臨床能力でアドバンテージがとれるか。common diseaseから希少な症例まで経験でき、今後の医師生活において重要な基盤を築けることができるプログラムで、卒後5、6年の間に臨床医として同世代の医師達を大きく凌駕する力をそれぞれの分野で身につけ、活躍しましょう。

### プログラムの特徴

- 主役は研修医・専攻医
- 指導医との顔の見える関係
- 重層屋根瓦方式の指導
- 充実した高度医療の実践
- Common Disease
- 恵まれた研修環境
- 初期～三次救急医療の充実

**230名の医師のうち、80名が若手医師“One Team”でサポートします。**

| 高度救命救急センター | 総合周産期母子医療センター | がん・ゲノム |
|---|---|---|
| 重篤な救急患者を24時間体制で受入 | 幅広い周産期医療を提供 | がん診療と遺伝診療体制を整備 |

## From Board Chairman

山梨県立病院機構　理事長　東京大学名誉教授

小俣　政男

### 重層屋根瓦指導で飛躍へのPlatform

この病院を13年間中から見てきました。客観的に見るのが難しくなりつつありますが、自身の教育体験、米国二大学（Yale,USC）6年、日本二大学（千葉大16年、東大17年）33年から鑑みても、『全方位/中核病院でのスタートは、将来のイシズエとなる』ことを保証します。

全医師数230は卒後研修として指導を行うOne “Unified” Teamには最適な数字と考えます。さらに、臨床研究、国際誌投稿、国内外留学など、将来のキャリア形成に対応できるよう柔軟なプログラムにより、“One Package”としての卒直後研修2-5年間をサポートいたします。

## From Chief of Medical Clinic

当院は高度救命救急センター・総合周産期センターを備え、都道府県がん診療拠点病院でもあります。その他、消化器・循環器・呼吸器・・・総合病院としての医療機能を備え、ほとんどの病状に的確に対応できる病院です。“山梨県医療の最後の砦”としての役割を果たしています。

また、若手医師の教育研修にも力を入れ、学術集会も頻回に開催しております。特記すべきこととしては、ゲノム解析センターを備え、がんゲノム医療を日本で先駆けて実践していることです。そして、明るいあいさつを合言葉にチーム医療を推進しています。

医学生の皆さん、また専門研修を目指す研修医の皆さん、我々の病院で医療を学ぶやりがいを感じながらスタートを切ってみませんか？

山梨県立中央病院　院長

中込　博

山梨県立北病院　院長

宮田　量治

専攻医プログラムの3年間は精神科医としての一生を決定づけると言ってもよい重要な期間です。北病院では、乳幼児を除くほぼ全ての年代／精神疾患に対応し、初診の3割は20歳未満の思春期例です。救急急性期症例、指定医症例・専門医症例を無理なく経験でき、アルコール依存症や司法精神医学なども身近なものとして体験できます。精神科医として第一歩を踏み出そうとしている皆さんにはうってつけの病院と自負しています。

よい医師は、患者さんが育てるものです。たくさんの経験を通し、試行錯誤する過程も体験しながら、力をつけていきます。そのためには、最先端の情報を集めたりまとめたりすることも必要となります。研修中は大変なこともあるかもしれませんが、皆さんの一生の宝となれるようにスタッフ一同頑張りますので、ぜひ一緒に新しい精神科臨床を切り開きましょう。

山梨県立中央病院機構

# 初期研修医

## 研修医基本理念

すべての研修医が確かな知識と医療技術を礎に
成長を続け、患者に信頼され安心を与え、
自信をもって医療を行うことができる医師に育つ。

## 基本方針

1 基本的な手技・知識・問題解決能力を身につける
2 Professionalな医師を目指す
3 コミュニケーション能力を身につける
4 山梨の医療を考える
5 学術的探求と臨床研究能力を習得する

## 恵まれた研修環境

### 1.総合研修プログラム

**○選択診療科について**

- 2年間の研修期間のうち48週間の自由選択期間を活用し、一人ひとりの多様なニーズに応えることが可能です。

**○必修科目について**

- 内科研修では「循環器・糖尿病内分泌」「呼吸器」「消化器」「腎臓・リウマチ膠原病」「総合診療・感染症」の中から3つを選択していただきます。
- 救急科研修では高度救命救急センターにて三次救急を8週間研修します。
- 精神科は専門病院である山梨県立北病院で研修を行います。
- 地域医療研修では9つの地域医療拠点病院から研修場所を選択可能です。
- 2年次に行う一般外来研修では、院内・外の指導医のもと継続的な診察が経験できます。

### 2.小児科重点プログラム

- 充実した小児科・小児外科・新生児内科研修に加え、さらなるニーズに合った研修スケジュールが選択できます。
- 小児科重点プログラムのみ山梨大学小児科での研修が可能です。

### 3.産婦人科重点プログラム

- 充実した産科・婦人科研修に加え、さらなるニーズに合った研修スケジュールが選択可能です。

## From Program manager

当院は、救急医療および各分野での最先端医療を提供する地域中核病院であるとともに、それを支える教育、学術研究に力を入れています。医師にとって大切な初期研修期間を豊富な症例を経験できる当院で過ごし、将来への礎を築きましょう。

教育研修センター統括部長
飯室　勇二

## Training Program

研修プログラムの基本スケジュール

| | | 1週〜4週 | 5週〜8週 | 9週〜12週 | 13週〜16週 | 17週〜20週 | 21週〜24週 | 25週〜28週 | 29週〜32週 | 33週〜36週 | 37週〜40週 | 41週〜44週 | 45週〜48週 | 49週〜52週 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合研修プログラム | 1年次 | 選択科 | 内科1 | | 内科2 | | 内科3 | | 救急科 | | 麻酔科 | 外科 | 小児科 | 産婦人科 |
| | 2年次 | 麻酔科 | 選択科 | 地域医療 | 選択科 | | | | | | | | | |

- 小児科重点プログラム 12週分 選択科▶小児科
- 産婦人科重点プログラム 12週分 選択科 ▶ 産婦人科

# Message

Furuya Rika

## 古屋　莉花

山梨県出身／山梨大学卒業

1年次研修医

救急疾患に対応する力を身につけたいという思いで当院を研修先に選びました。二次救急では研修医がファーストタッチをし、鑑別をあげ、検査・治療を考えていきます。はじめて二次救急に参加したときは、ひとりで全てをこなす先輩研修医の先生方の姿に衝撃を受けました。この恵まれた環境で経験を積み、先輩方のようになることが目標です。

研修医になり2か月が経ちました。スピード感溢れる環境で、充実した生活を送っています。まだまだ分からないことばかりですが、上級医の先生方の指導を受けながら、日々成長を実感しています。同じ目標を持った同期とは、支え合いながら楽しく過ごしています。そしてなにより、先輩研修医の先生方の存在が大きいです。目標となる先輩方の姿を見ながら勉強しています。当院に少しでも興味のある方はぜひ見学にいらしてください。一緒に働ける日を心待ちにしています。

Ishizawa mayuko

## 石澤　満優子

山梨県出身／山梨大学卒業

2年次研修医

大学生の頃に行った病院見学で印象的だったのが、目を輝かせて精力的に働く研修医の先輩方の姿でした。病棟や外来での患者対応や手術への参加、カンファレンスや抄録会での発表など、チームの一員として職務を全うしていました。二次救急では研修医が主体となり、診察・検査から鑑別まで行うため、考える力や他科へのコンサルティング力が育まれます。必ず上級医が監督しているので、すぐに相談ができ、安心して診療を行うことができます。ローテート選択期間が長いため、それぞれに合った研修が組めることも魅力の一つです。私自身、忙しいながらも充実した日々を送ることができ、当院に決めて本当に良かったと心から思います。

積極性を持って誠心誠意取り組んでいけば、どれだけでも成長させてくれる場所です。ぜひ一度当院に足をお運びください。当院で一緒に働ける日を心待ちにしています。

Nakamura Yuichiro

## 中村　優一朗

東京都出身　東京医科大学卒業

1年次研修医

私がこの病院を志望したのは、6年生の時の見学がきっかけです。二次救急では研修医の先生方が診察をし、その後の方針まで考えており主体的に動いていました。座学よりも実践で学びたい私にとって、自分もこのような環境で働きたいと思ったのを覚えています。まだ働き出して数か月ですが、採血はもちろんCVカテーテル挿入など多くの手技を行う機会があり、ドキドキしながらも毎日充実した日々を過ごしております。もちろん困ったことがあれば上級医の先生方やコメディカルの方などが優しく教えてくださり、安心して研修することができます。

出来ないことはまだたくさんありますが、日々出来ることが増えていることに喜びを感じ、2年後の自分を思い描きながら日常診療にあたっています。ぜひ当院に足を運び、ここでの研修を終えた2年後の自分を想像してみてください。来年皆さんと働ける日を楽しみにしています。

Kawaguchi Naoki

## 川口　直紀

山梨県出身　山梨大学卒業

2年次研修医

山梨県立中央病院での一年間の研修生活を振り返って、当院の魅力を紹介したいと思います。当院は山梨県内唯一の高度救命救急センターを有し、日々重症患者が運ばれてきます。ここでは上級医とともに初期対応を行い、迅速な治療へと繋げていきます。さらに、二次救急では自らが主体となってfirst touchを行い、鑑別疾患、検査、治療までを自分の力で考えます。二年前、病院見学でそれらを的確に行う研修医の姿に衝撃を受けたことを今でもよく覚えています。そして、今度は私がその立場になり、憧れた先輩方に少しでも近づけているのだろうかと考えながらも、熱心な上級医や高め合える同期にも恵まれて充実した日々を送っています。

様々なCommon diseaseを通じて考える力を養い、医師として大きな第一歩を踏み出せる環境がここにはあると、私は確信しています。皆さんと一緒に当院で働ける日を心待ちにしています。

主役はあなた。

山梨県立中央病院機構

# 専攻医

## 専門研修プログラムの概要

中央病院では内科、外科、救急科、総合診療科、整形外科、小児科の専門研修プログラム、北病院では精神科の専門研修プログラムの基幹病院としています。専門医を習得する3年間が目安ですが、各専攻医のニーズに応じたプログラムが作成可能です。

## 基本方針

1 多くの臨床経験を積み重ねる
2 専門医資格取得を指導する
3 臨床研究を英文誌に投稿することを目標とする
4 海外留学の物心両面の援助を行う

# 学び、成長する。

## Endo Tatsuki

### 遠藤　樹希

外科専門研修プログラム

外科

　私は当院で2年間の初期研修を終え、当院の外科プログラムを選択しました。現在は外科専門医2年目として勤務しています。
　当院はがん診療拠点病院であり、また救急の輪番日も多く、悪性疾患・良性疾患ともに数多くの症例が集まります。様々な疾患の手術を経験できると考え、後期研修として当院のプログラムを選択しました。急性期外科手術を含め多くの手術を執刀しています。術前から術後の管理、化学療法など手術以外の治療について、また緩和ケア治療も含め、幅広い治療を経験できます。診断・治療に難渋した場合でも上級医の先生方が相談に乗ってくださり、丁寧な指導を受けることができ、日々の研修の中で知識も手技も得ることができると考えています。
　ぜひ一度当院へ見学に来てください。皆様と一緒に働くことができる日を楽しみにしています。

## Iwata Chihiro

### 岩田　千優

救急科専門研修プログラム

高度救命救急センター

　私は山梨大学医学部附属病院で2年間初期研修を行いましたが、以前から救急医を志望していたこともあり、当院の高度救命救急センターでの研修も1ヶ月間選択しました。
　そこで目にした多彩な症例の数々、それらに対して瞬時に正確な診断と治療を行う幅広いサブスペシャリティーを持つ先生方の姿に胸を打たれ、当院の救急科専門医プログラムに進むことを決めました。
　ドクターヘリ、ドクターカーを有する当院は院外での診療機会も多く、また外傷、内因性問わず集約する症例に対して緊急手術を含めた治療とその後の集中治療までを一貫して担うため、救急医として必要な経験、スキルを磨くのに最適な環境であると感じます。当院の初期研修医は当センターで2ヶ月間研修を行いますが、特に現場での対応力、決断力の向上させる絶好の機会です。この魅力的な現場で皆さんと救命に携われる日を心待ちにしています。

## Misu Tomoharu

### 三須　智榛

内科専門研修プログラム

総合診療科・感染症科

　私は当院での初期研修を終え、内科専攻医として総合診療科・感染症科で勤務しております。感染症・内科・腫瘍内科を専門とする指導医のもと、初診外来では不明熱や貧血、関節痛など、継続外来では慢性感染症など、病棟では感染症、心不全、肉腫など、併診では抗菌薬適正使用支援チームとして様々な科の感染症の患者さんを担当しております。
　当院は県内最後の砦としての救命救急センターをはじめ、各科・各部署の連携が非常にスムーズであり、困ったときすぐに相談でき、指導いただける環境が整っています。病院全体に育ててもらっていると実感しています。また市中病院としては類まれな学術的環境も整っており、臨床研究や症例報告の機会に恵まれています。専門研修プログラムの自由度の高さや、時間外労働の削減に向けて病院全体として取り組んでいることも魅力です。ぜひ、一度見学にいらしてください。一緒に成長し合える仲間をお待ちしています!

01

山梨県立中央病院

## 内科専門研修プログラム

優れた指導医と豊富な症例
臨床研究でリサーチマインドを磨く
研修内容を自分で決める自由な選択

**初年度から自由度高く研修可能。**
**サブスペシャリティを早めに目指したい場合にも対応可能。**
**二次救急経験で総合内科的力も身につく。**

地域医療の最後の砦として、地域密着の医療を行っています。同時に、山梨県の様々なセンター機能も担っており、密度の高い専門医療を行っています。市中病院では珍しい、ゲノム解析センターを有し、最前線のゲノム解析も行っています。各領域の専門家への相談がリアルタイムに可能で、躍動感ある医療を実践できる現場に参加できます。

内科専門研修プログラム統括責任者

梅谷 健

募集は6名です。2020年度は6名、2021年度は2名、2022年度は4名が当院プログラムに参加しています。山梨大学、東京医科歯科大学、千葉大学、杏林大学の連携施設でもあり、現在22名の内科専攻医が活躍をしています。色々な初期臨床研修施設で研修した若き医師が集まり、臨床技術・研究マインドを高めあえる現場です。医療人としての基礎を固め、世界に羽ばたいていく。そんなスピリッツを持った人材を待っています。

02

山梨県立中央病院

## 外科専門研修プログラム

急性期・高度医療
十分な症例数
学術的な研修

**“魅力ある外科”へ。当院で一歩を踏み出そう**

外科医を必要とする患者さんは非常に多く、また習得すべき手術方法も進化し続けています。外科は、天職として選択するには、大変魅力ある診療科です。我々と一緒に魅力ある外科の道に踏み出しましょう。

消化器外科・心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、および乳腺外科のいずれかをサブスペシャリティーとし、それに連動した研修スケジュールを設定することができます。一方、サブスペシャリティーを特定しない外科全般の研修も可能です。

すべての領域において十分な症例数を臓器専門医指導のもとに経験することができ、学術的な研修も十分にできる体制をめざしています。

当院の年間外科手術数は約2,000例、3年間で12名の専攻医を受け入れることができます。2023年度は4名を定員として募集いたします。山梨県内の11病院が連携施設となっており、6か月を連携病院で、2年6か月は当院で研修する予定です。専攻医のサブスペシャリティー研修の希望に合わせ、研修スケジュールを組むことができます。

※ 当院では、最新型の手術ロボット「da Vinci Xi」（ダヴィンチXi）での手術も行っています。

外科専門研修プログラム統括責任者

羽田 真朗

当院は山梨県の基幹病院として急性期・高度医療を担っています。山梨県民に的確で先端の医療を提供するとともに、高いレベルの医療を支えることができる外科医を育成することを使命としています。外科医としての第一歩を踏み出す若者が、元気に将来の希望をもって働き、研修を積むことができるプログラムを提供できるよう指導医が一丸となって取り組んでいます。

## 03 山梨県立中央病院
# 救急科専門研修プログラム

山梨県唯一の救命救急センター
退院まで自己完結
サブスペシャリティ

**山梨県唯一の救命救急センター**
**連携病院との豊富な人事交流で**
**お互い刺激しながら救急医療の研鑽を**

当院は高度救命救急センターを有しており、山梨県内全域より年間2,000例以上受け入れています。重症患者は全県から集約しており、重症外傷、重症熱傷、重症中毒などの外因性疾患はもとより、内因性の重症疾患も様々経験できます。特に重症外傷・多発外傷は全県の症例が集まってきますので全国的にも引けを取らない症例数です。ドクターカー・ドクターヘリによる病院前診療から、緊急手術・IVR、集中治療室における術後管理・集中治療管理まで重症患者の治療を一貫して行っています。

2020年からは集中治療科医師も所属し、ECMO導入など集中治療管理にも一層力を入れています。

救急科には、サブスペシャリティーとして数多くの専門医を取得した医師が在籍しているため、術者・担当医として退院まで自己完結を目指しています。専門性の高い疾患に関しては、循環器内科、脳外科、整形外科、形成外科、口腔外科、精神科等々と密な連携を取りながら診療にあたっています。他科との風通しもよく相談しやすい風紀です。

救急科領域基幹施設として県内外の多数の施設と連携をしており、関連施設でER、集中治療、地域医療を行うことで救急医として幅広い臨床経験を積むことができます。救急科専門医を取得した後にはダブルボードとして外科、整形外科、脳神経外科、放射線科などの専門医の取得もできるように、将来につながる研修を目指しています。

救急科専門研修プログラム統括責任者
岩瀬　史明

当センターは山梨県唯一の基幹災害拠点病院としてDMATの資格取得を勧めており、実災害への出動も経験できるかもしれません。担当医制ではありますが、休日は完全なOFFが取れ、プライベートの時間が確保できます。女性医師も複数名在籍しており、体力面の不安や出産・育児への負担にも配慮します。当センターに来て、「こんな重症患者も助かるんだ!?」との経験をしてみませんか?!

## 04 山梨県立中央病院
# 総合診療専門医研修プログラム

問診・診察を徹底
専門家
オールラウンダー

**慢性・急性期・身体・精神・社会的問題を問わず**
**中枢神経・循環器・呼吸器・腎臓・消化器などの臓器も問わず**
**オールラウンダーとして活躍を**

まず山梨県立中央病院総合診療科・感染症科で病棟診療、外来診療をみっちり研修します。後期研修1年目ではどんな患者さんでも問診と診察を徹底し、診断を付ける方略を身につけます。2年目では身につけたスキルを地域医療機関で実践し自分の得手不得手を確認します。3年目は仕上げです。中堅医師として若手医師の教育、マネジメントやリーダーシップを学び実践します。プログラム終了後は、総合診療科専門医受験資格を得て、病棟総合医となるか、サブスペシャリティーとして内科プログラムに参加することもできます。当科は県内唯一の日本感染症学会認定施設です。感染症科医を目指すこともできます。

プログラムの全体構成（月単位の換算による）

| 総合診療専門研修 | 総合診療専門研修Ⅰ 9カ月 | | 総合診療専門研修Ⅱ 9カ月 | |
|---|---|---|---|---|
| 領域別研修 | 内科 6カ月 | 小児科 3カ月 | 救急科 3カ月 | その他 6カ月 |

総合診療専門医研修プログラム統括責任者
三河　貴裕

「よくある病気、困っていることなら何でも診ることができる」というのは、逆説的ですが、専門家でないとできません。総合診療プログラムでは、比較的大きな病院で活躍できる総合内科医を育てます。慢性・急性期・身体・精神・社会的問題を問わず、中枢神経・循環器・呼吸器・腎臓・消化器などの臓器も問わずオールラウンダーとして活躍できる総合診療内科医を一緒に目指しませんか?

05

山梨県立中央病院

# 小児科専門研修プログラム

## 目指せ!子どもの総合医

小児科専門研修プログラムによる専攻医を、2023年度も2名募集します。本プログラムでは、当院の小児科、新生児内科での研修を中心に、山梨大学医学部小児科での研修も含めて多様な小児疾患の診療にあたります。また、県内の連携施設で地域の小児医療を経験します。このため各施設の特徴を活かした小児医療全般の研修が可能であり、体とともに心や家族、社会的背景まで含めて子どもを全人的に診療する小児科医としての基本技能を3年間で身につけることができます。さらに、サブスペシャリティを持つ指導医が多く在籍しており、それぞれの基本的な研修が可能です。

多様な小児疾患診療
総合周産期センターでの新生児医療
地域小児医療の経験
サブスペシャリティの基本的研修

小児科専門研修プログラム統括責任者

星合 美奈子

当院は山梨県の中核病院であり、小児科は急性期疾患を中心に一次から三次医療まで多様な症例を診療しています。新生児内科は総合周産期母子医療センターの一翼を担っており、超未熟児を含めた重症新生児の高度医療にあたっています。山梨大学小児科や地域医療施設での研修を取り入れた3年間のプログラムにより、小児科専門医として必要な考え方や技術の獲得が可能です。私たちと一緒に、頑張りましょう。

06

山梨県立中央病院

# 整形外科地域専門研修プログラム

## 外傷のスペシャリストを目指して

整形外科の分野は幅広く、慢性運動器疾患やスポーツ障害・外傷および労働災害や交通事故によって発生する運動器疾患に関して、診断、治療ならびにリハビリテーションなどを適切なタイミングで実行する必要があります。当院では特に、三次救急を扱う救命救急センターと連携して、脊椎外傷や重度四肢外傷の症例を数多く経験することができます。その中で患者さんの回復(未来)を最大限引き出せるような治療介入ができる整形外科医の育成を目指しています。

多くの症例を執刀
高度救命救急センターとの連携
豊富な外傷症例

整形外科地域専門研修プログラム統括責任者

佐久間 陸友

当院の整形外科は医師11名(日本整形外科学会専門医6名)の体制で、整形外科のほぼ全分野に対応しています。2020年4月より脊椎専門医と運動器腫瘍専門医が加わりさらに充実した研修が可能となりました。専門医を目指す若手整形外科医も多く勤務しており、同年代で切磋琢磨できる環境が整っています。年間の手術件数は約1,000件、三次救急を扱う高度救命救急センターがあるため外傷患者が多く、上級医の指導のもと多くの手術症例を経験することができます。

07

山梨県立北病院

# 精神科専門研修プログラム

## 初年度はオーベンネーベン制による
## きめ細かい指導からスタート
## 本格的臨床研究を含めたリサーチマインドの醸成

北病院は、精神科医として第一歩を踏み出そうとしている若いドクターの皆さんにはうってつけの病院です。当院を受診する患者さんは、急性期から慢性期、児童思春期から認知症例まで幅が広く、精神科医として経験すべき精神障害が網羅されています。山梨県の精神科医療の基幹的病院でありながら、地域医療の実践の場ともなっているのが当院の特徴です。研修では、オーベンネーベン制によるきめ細かい指導が特徴です。指定医レポート症例を無理なく経験でき、症例発表や学会発表を通してリサーチマインドを高める指導体制も充実しています。

精神科医療の基幹的病院
地域医療の実績
リサーチマインド

精神科専門研修プログラム統括責任者

宮田 量治

北病院の研修では、bio-psycho-socialな視点から、多職種スタッフとともに、精神科医としての知識や経験、対応力を身につけていきます。治療に難渋する患者さんの回復への道を試行錯誤する過程も体験しながら、精神科の高度治療(mECT,クロザピン)や心理療法を使いこなせるようにします。予備知識ゼロからでもスタート可能です!よき精神科臨床医を目指す専攻医の皆さんのご応募をお待ちしています。

## 快適な仕事環境・福利厚生施設

■ 医局

■ 図書室（PC スペース・ミーティングスペース併設）

■ 県立中央病院レジデントクォーター

| | |
|---|---|
| ■ 住所 | 甲府市富士見1丁目4番11号 |
| ■ 建設工事費 | 2億500万円（本体工事費　1億9,300万円　設計・管理費　1,200万円） |
| ■ 構造規模 | 鉄筋コンクリート造３階建て |
| ■ 内部仕上 | 32.58㎡/室×24室 |
| ■ 設備 | 床/フローリング　壁・天井/石膏ボード+ビニルクロス<br>システムキッチン（IH式）、水洗トイレ、ユニットバス、洗面化粧台 |
| ■ 入居料等 | 26型液晶テレビ、ルームエアコン、木製ベット<br>入居料12,940円/月、共益費1,500円/月、駐車料2,160円　計16,600円 |

■ 中央病院DATA（2022年4月1日現在）

| | |
|---|---|
| ［看護体制］ | 7対1看護 |
| ［入院患者数］ | 443人（令和3年度一日平均） |
| ［外来患者数］ | 1,231人（令和3年度一日平均） |
| ［指定病院］ | 高度救命救急センター、救急告示病院、基幹災害拠点病院、<br>第1種感染症指定医療機関、総合周産期母子医療センター、<br>臨床研修指定病院、エイズ治療拠点病院、<br>がん診療連携拠点病院地域医療支援病院　ほか |
| | 総合診療科・感染症科、女性専門科、呼吸器内科、<br>消化器内科、糖尿病内分泌内科、血液内科、循環器内科、<br>腎臓内科、リウマチ・膠原病科、神経内科、精神科、小児科、<br>皮膚科、産科、婦人科、新生児内科、外科、呼吸器外科、<br>小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、<br>泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、口腔外科、麻酔科、緩和ケア科、<br>放射線科、病理診断科、高度救命救急センター |

## 2023 募集要項

### 初期研修医

**■募集定員**

| | |
|---|---|
| 総合研修プログラム | 20名 |
| 小児科重点プログラム | 2名 |
| 産婦人科重点プログラム | 2名 |

**■応募手続**

詳しくはホームページをご確認ください。
（採用試験は2回に分けて行います）

**■応募期間**

令和4年6月9日～令和4年８月19日

**■選考方法**

・書類審査
・面接

**■採用の決定**

選考結果をマッチング協議会に登録し、その結果により採用を内定します。

**■処遇**

■身分　研修医
（会計年度任用職員）
■給与　1年次　299,800円
2年次　309,500円
このほか、時間外手当、当直手当、賞与等が付加されます。
■宿舎　有
■社会保険　有
※制度改正により変更の可能性あり

**■採用までのスケジュール**

6月　9日（木）マッチング参加登録受付
7月 22日（金）第1回選考試験応募〆切
7月 31日（日）第1回選考試験
8月　4日（木）マッチング参加登録〆切
8月 19日（金）第2回選考試験応募〆切
8月 28日（日）第2回選考試験
9月 15日（木）マッチング希望順位登録受付開始
9月 30日（金）マッチング中間公表
10月 13日（木）マッチング希望順位登録最終〆切
10月 27日（木）マッチング組み合わせ結果発表

### 専攻医

**■募集定員**

| | |
|---|---|
| 内科専門研修プログラム | 6名 |
| 外科専門研修プログラム | 4名 |
| 救急科専門研修プログラム | 5名 |
| 総合診療専門研修プログラム | 2名 |
| 小児科専門研修プログラム | 2名 |
| 整形外科専門研修プログラム | 2名 |
| 精神科専門研修プログラム | 2名 |

**■応募手続**

（一社）日本専門医機構により定められた方法に従います。
出願書類は次の通りです。
書類は郵送または持参してください。

**■出願書類**

・願書（当院様式）
・履歴書1（当院様式）
・履歴書2（当院様式）
・健康確認書（当院様式）
・医師免許証の写し
・臨床研修修了証または修了見込証明書
※当院ホームページからダウンロード可能。

**■応募期間**

日本専門医機構の定めた期間による

**■選考方法**

・書類審査
・面接

**■採用の決定**

専攻医登録システムにて採否の登録をいたします。

**■処遇**

■身分　専攻医
（会計年度任用職員）
■給与　1年次　444,500円/月
2年次　480,300円/月
3年次　525,800円/月
このほか、時間外手当、当直手当、賞与等が付加されます。

## 山梨県立中央病院のご案内と病院見学

**■ 病院見学を希望される方**

当院ホームページより「病院見学申込書」をダウンロード
必要事項記入の上、下記連絡先までお申込みください。
※申込みの受付は、土日・年末年始・GWは除きます。
※日程調整の都合上、見学希望日の7日前までにお申込みください。

### 県立中央病院

〒400-8506 甲府市富士見1丁目1-1
**055-253-7111（代）**

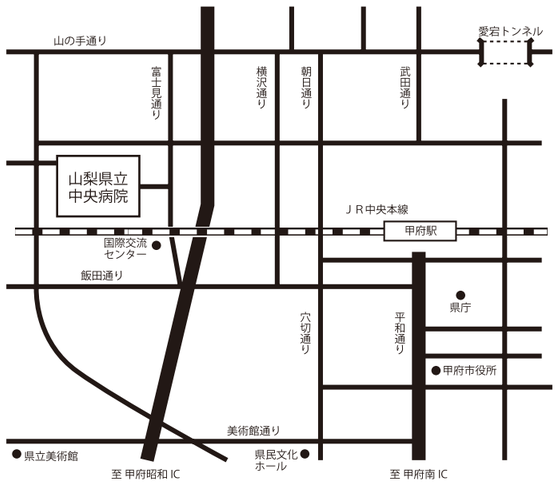
### 県立北病院

〒407-0046 韮崎市旭町上條南割3314-13
**0551-22-1621（代）**

JRご利用の場合

| | | |
|---|---|---|
| 新宿 | 中央本線　特急あずさ・かいじ | 甲府（約1.5時間） |
| 静岡 | 中央本線　特急あずさ | 甲府（約2.5時間） |
| 松本 | 身延線 特急ワイドビューふじかわ | 甲府（約1.5時間） |

※甲府駅からタクシーで5～10分



地方独立行政法人
山梨県立病院機構
YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION
〒400-8506 山梨県甲府市富士見1丁目1番1号
TEL：055-253-7111（代） FAX：055-253-8011

**研修医・専攻医募集案内**
https://www.ych.pref.yamanashi.jp/kiko/

病院見学　初期研修　専門研修